

医師会への調査結果について

津山・英田圏域各医師会会員数内訳

※美作保健所2019年10月調査

※年齢は2019年11月1日現在で集計

単位：人

医師会名	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡	合計	
会員数	192	20	7	27	27	273	
医療機関	病院	89	11	1	8	7	116
	診療所	98	7	6	19	20	150
	在宅会員	5	2	0	0	0	7
会員平均年齢	61.0	62.8	55.4	59.4	49.6	59.6	

※合計人数は他の医師会に入会している重複者あり、実267人で全体の平均年齢を計算

津山・英田圏域各医師会診療所会員の5歳別年齢構成（2019年）

※美作保健所2019年10月調査

※年齢は2019年11月1日現在で集計

単位：人

年代	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡	合計
25-29歳	0	0	0	1	1	2
30-34歳	0	0	0	0	5	5
35-39歳	5	0	0	2	2	9
40-44歳	3	0	0	2	1	6
45-49歳	5	1	1	0	0	7
50-54歳	10	0	0	2	1	13
55-59歳	8	0	1	2	1	12
60-64歳	15	3	1	4	1	24
65-69歳	17	0	2	3	6	28
70-74歳	17	1	0	1	2	21
75-79歳	8	2	0	1	0	11
80-84歳	5	0	0	1	0	6
85-89歳	3	0	0	0	0	3
90-95歳	2	0	0	0	0	2
合計	98	7	5	19	20	149
平均年齢	64.0	65.9	57.5	57.7	50.7	62.9

※合計人数は他の医師会に入会している重複者あり、実146人で全体の平均年齢を計算

津山・英田圏域各医師会診療所会員の5歳別年齢構成（2025年）

※美作保健所2019年10月調査の医師会診療所会員の2025年4月1日現在で年齢を計算

単位：人

	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡	合計
25-29歳	0	0	0	0	0	0
30-34歳	0	0	0	0	1	1
35-39歳	0	0	0	1	5	6
40-44歳	4	0	0	2	1	7
45-49歳	4	0	1	2	2	9
50-54歳	4	1	1	0	0	6
55-59歳	9	0	0	2	1	12
60-64歳	10	0	1	1	0	12
65-69歳	13	3	1	4	2	23
70-74歳	18	0	2	3	6	29
75-79歳	17	1	0	2	2	22
80-84歳	9	2	0	1	0	12
85-89歳	5	0	0	1	0	6
90-94歳	3	0	0	0	0	3
95歳以上	2	0	0	0	0	2

※重複者あり

津山・英田圏域各医師会診療所会員の5歳別年齢構成（2040年）

※美作保健所2019年10月調査の医師会診療所会員の2040年4月1日現在で年齢を計算

単位：人

	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡	全体
25-29歳	0	0	0	0	0	0
30-34歳	0	0	0	0	0	0
35-39歳	0	0	0	0	0	0
40-44歳	0	0	0	0	0	0
45-49歳	0	0	0	0	1	1
50-54歳	0	0	0	1	5	6
55-59歳	4	0	0	2	1	7
60-64歳	4	0	1	2	2	9
65-69歳	4	1	1	0	0	6
70-74歳	9	0	0	2	1	12
75-79歳	10	0	1	1	0	12
80-84歳	13	3	1	4	2	23
85-89歳	18	0	2	3	6	29
90-94歳	17	1	0	2	2	22
95歳以上	19	2	0	2	0	23

※重複者あり

津山・英田圏域医師会の学校医数(美作保健所2019年10月調査)

医師会名	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡
医師数	40	10	4	10	8

※複重者あり

※津山市医師会は保育園幼稚園42カ所、小・中学校35カ所、高校等7カ所有り
学校医を担っている。

※眼科、耳鼻科がない市町村もあり、他の医師会に依頼されているところ有り

津山・英田圏域医師会の学校医・産業医・介護認定医の状況(美作保健所2019年10月調査)

	人数	割合(総数 267人の内)	平均年齢
学校医	71	26.6%	60.9歳
産業医	66	24.7%	59.7歳
介護認定審査会	39	14.6%	59.9歳

津山・英田圏域医師会の予防接種医療機関数(美作保健所2019年10月調査)

医師会名	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡
医療機関数	70	7	5	13	9

※津山市・勝田郡医師会は所属長で回答

※苫田郡・久米郡・美作市医師会は医師名で回答

津山・英田圏域の在宅当番医制に参加の医療機関(美作保健所2019年10月調査)

医師会名	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡
医療機関数	34	7	5	9	8

※津山市・勝田郡医師会は所属長で回答

※苫田郡・久米郡・美作市医師会は医師名で回答

津山・英田圏域の在宅医療(医師数)(美作保健所2019年10月調査)

医師会名	津山市	苫田郡	久米郡	美作市	勝田郡
訪問診療		15	3	17	
往診		15	3	22	
24時間対応		15	2	8	

※津山市・勝田郡医師会で把握不明

医師会として認識している現状と課題について

①公衆衛生

- ・予防接種については、多くの医師会所属医療機関にご協力頂いており、住民の方に不都合なく貢献させて頂いていると感じている。
- ・特定健診については市町村も受診率の低迷に苦しんでいる。市町村と施策を協議し実施していく医師会理事会および健診実施医療機関も多くのストレスを抱えながらです。もっとシンプルに地域住民の健康維持のための健診に戻すべきと考える。

②産業医

- ・メンタルヘルス対策等、産業医が十分に役割を果たせていないと考えられる事業所が多い。

③学校医

- ・担当する医師の人数が減少し、高齢化が問題となっている。また帯同するスタッフに関しても働き方改革などにより確保が困難になっている。

特に耳鼻科医は少なく担当する学校が遠距離のため、休診日に診察せざるを得ない。

④初期救急

- ・現在、87（内科系 59 機関）医療機関が登録されているが、5年間の救急対応医療機関の推移の増減はあるが、30 医療機関から 26 医療機関と減少傾向。
- ・2020 年度の救急対応医療機関は 26 医療機関（一部の地区除く）で対応する事となります。医師会としての救急対応日数は 165～188 日ですが、大型連休や正月、ハッピーマンデーなど看護師・スタッフの確保が困難な現状と医師の高齢化等もあり、今後、救急医療の継続は困難な状況となると考えます。
- ・日曜日に輪番制の診療所体制で対応。平日の二次救急以降は転医の手配で対応

⑤在宅医療

- ・現在、在宅医療を積極的に行っている医療機関は多くはない。24 時間体制を宣言しそれを患者に示すには抵抗がある医師が多く、自院の患者が通院不可となった場合のみ、往診・在宅医療を行っているパターンが多数である。また実質 24 時間体制をするには個人では無理があり複数医師の連携が必要であるが、当地域では連携意識が薄くそれは難しい。施設における嘱託医についても診療報酬単価の下降変更後、辞退者が出て、希望者がおらず見つけにくい状況である。
- ・現時点では在宅医療の求めに対して全て十分な事ができているかどうかは評価できないが、訪問看護ステーションなどと連絡をとりながら必要な場合には何とか対応できている。

【その他】

- ・人口減少、過剰傾向地域での診療所の存在意義を保健所の職員の方、地域医療構想の場でもっと大切に感じてほしい。このままだと新規開業や医療継続継承は難しい。町立の診療所の件でも明からで、行政の下支えを要する。

※各医師会のコメントを集約しています

医療機器の共同利用状況について

津山・英田保健医療圏域医療機器の設置状況（医療機関数）

	C T	M R I	P E T	放射 線 治療	マン モ グ ラ フ イ ー
病院数	15	4	1	1	4
診療所数	4	2	0	0	2
合計	19	6	1	1	6

美作保健所2019年10月調査：22医療機関

津山・英田保健医療圏域医療機器の設置状況（保有台数）

病院保有台数					一般診療所保有台数				
C T	M R I	P E T	放射 線 治療	マン モ グ ラ フ イ ー	C T	M R I	P E T	放射 線 治療	マン モ グ ラ フ イ ー
17	6	1	2	5	4	2	0	0	2

美作保健所2019年10月調査：22医療機関

津山・英田保健医療圏域医療機器の共同利用状況

	C T	M R I	マン モ グ ラ フ イ ー	P E T	放射 線 治療
病院数	共同利用あり	7	2	1	1
	共同利用なし	8	2	3	/
	今後、提供に応じられる	5	1	3	
	提供に応じられない	3	1	0	
	共同利用する場合、更新をやめてもよい	0	0	0	
診療所数	共同利用あり	0	0	0	
	共同利用なし	4	2	2	
	今後、提供に応じられる	1	0	0	
	提供に応じられない	2	1	2	
	共同利用する場合、更新をやめてもよい	0	0	0	

美作保健所2019年10月調査：22医療機関

岡山県外来医療に係る医療提供体制計画
津山・英田圏域（案）

目次

- 1 計画の基本的事項（医療推進課）
 - 1 計画策定の趣旨
 - 2 計画の基本理念
 - 3 計画の性格
 - 4 計画の期間

- 2 外来医療の現状
 - 2-1 外来医師偏在指標と外来医師多数区域（医療推進課）
 - 1 外来医師偏在指標
 - 2 外来医師多数区域
 - 2-2 外来医療提供体制の現状（医療推進課）

- 3 新規開業者に求める事項
 - 3-1 外来医師多数区域（各保健所）
 - 1 現状と課題
 - 2 施策の方向
 - 3-2 外来医師多数区域以外の区域（各保健所）
 - 1 現状と課題
 - 2 施策の方向

- 4 医療機器の効率的な活用
 - 4-1 医療機器の設置状況と共同利用状況（医療推進課）
 - 1 医療機器の設置状況
 - 4-2 医療機器の共同利用の方針（各保健所）

(医療推進課)

章名	1 計画の基本的事項
節名	

1 計画策定の趣旨

急速な少子化・高齢化の進展、生活習慣病の増加などの疾病構造の変化、医療技術の高度化・専門化、県民の健康に対する意識の高揚などにより、近年の保健医療を取り巻く環境は著しく変化している中で、県内各地域で中心的に外来医療を担う無床診療所の開設状況が一部地域に偏っていると同時に、県内診療所における診療科についても、専門分化が進んでいる状況にあります。

また、各地域における在宅医療の充実が求められているとともに初期救急医療提供体制、公衆衛生等を担う外来医療機関が不足する状況にあるほか、グループ診療の実施、放射線装置の共同利用等の医療機関の連携の取組が、地域で個々の医療機関の自主的な取組に委ねられている等の状況にあります。

これらの課題に適切に対応するため、国の定めた「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)を踏まえて、「岡山県外来医療に係る医療提供体制計画」を策定しました。なお、本計画は、第8次の「岡山県保健医療計画」の一部として位置づけるものとします。

2 計画の基本理念

本県では、県政の最上位計画である「新晴れの国おかやま生き生きプラン」において、県民誰もが、良質な保健・医療・福祉サービスを受けられ、住み慣れた地域で安心して自立し暮らせる社会の実現を目指しています。

これを踏まえた本計画の基本理念は、「すべての県民がいきいきとした生活を送れるよう、良質な外来医療サービスが受けられる体制を確保する。」こととし、限られた医療資源を有効・効率的に活用しながら、住民・患者の視点に立った医療情報の提供や、地域に必要な外来医療機能の確立や医療機器の共同利用等による効率的な医療提供体制の確立を目指します。

3 計画の性格

本計画は、次のような性格を有するものです。

- (1) 医療法(昭和23(1948)年法律第205号)第30条の4第1項に基づき、都道府県が策定する医療計画です。

- (2) 県民、関係機関、関係団体等においては、この計画に沿った自主的、積極的な活動が展開されることを期待するものです。
- (3) 外来医療の計画について、各地域医療構想調整会議において協議を実施することとします。
- (4) 医療機器の効率的な活用のため、新規購入希望者に対して情報を提供し、各地域医療構想調整会議において、医療機器の共同利用等について協議することとします。

4 計画の期間

令和2(2020)年度から令和5(2024)年度までの4年間とします。

ただし、計画期間内であっても、保健医療の動向、社会・経済情勢の変化や制度改正等に対応するため、必要に応じて検討を行い、計画を見直すこととします。

章名	2 外来医療の現状
節名	1 外来医師偏在指標と外来医師多数区域

1 外来医師偏在指標

外来医療機能の偏在等の可視化に当たっては、外来医療のサービスの提供主体は医師であることから、外来医療に関する指標として医師数に基づく指標を算出することとし、具体的には、5つの要素(医療需要(ニーズ)及び人口構成とその変化、患者の流出入等、へき地等の地理的条件、医師の性別・年齢分布、医師偏在の種別(区域、入院/外来))を勘案した人口10万人対診療所医師数を用いることとします(以下当該指標を「外来医師偏在指標」という。)

現 状	
○県内各二次医療圏における、外来医師偏在指標は、次のとおりとなっています。	
県南東部保健医療圏	137.7
県南西部保健医療圏	109.5
高梁・新見保健医療圏	98.6
真庭保健医療圏	104.1
津山・英田保健医療圏	110.0
(平成28(2016)年12月31日現在)	

図表1-1 外来医師偏在指標

圏域区分	都道府県名	圏域名	外来医師偏在指標 (圏域人口を考慮)	診療所従事医師数		人口				備考
				一般診療所 従事医師数 (人)	労働時間調 整係数	人口(10万 人)	昼夜間人口 比	外来標準化 受療率比 (圏域人口)	診療所の外 来患者対応 割合	
全国	00 全国	00 全国	106.3	102,437	1.000	1277.1	1.000	1.000	0.755	106.3
二次医療圏	33 岡山県	3301 県南東部	137.7	975	0.988	9.1	1.020	0.898	0.751	142.1
二次医療圏	33 岡山県	3302 県南西部	109.5	532	1.002	7.2	0.973	1.031	0.677	109.7
二次医療圏	33 岡山県	3303 高梁・新見	98.6	38	0.954	0.6	1.025	1.173	0.497	124.2
二次医療圏	33 岡山県	3304 真庭	104.1	34	0.971	0.5	0.976	1.172	0.584	122.6
二次医療圏	33 岡山県	3305 津山・英田	110.0	156	0.982	1.8	1.001	1.036	0.703	121.8

○ 外来医師偏在指標とは

外来医師偏在指標＝

標準化診療所医師数(※1)

$\frac{\text{地域の人口} \times \text{地域の標準化受療率比(※2)} \times \text{地域の診療所の外来患者対応割合(※4)}}{10 \text{ 万}}$

※1 標準化診療所医師数＝ \sum 性年齢階級別診療所医師数
× 性年齢階級別平均労働時間
÷ 診療所医師の平均労働時間

※2 地域の標準化外来受療率比＝ $\frac{\text{地域の外来期待受療率(※3)}}{\text{標準化受療率}}$

全国の外来期待受療率

※3 地域の外来期待受療率＝

$$\frac{\Sigma(\text{全国の性年齢階級別外来受療率} \times \text{地域の性年齢階級別人口})}{\text{地域の人口}}$$

※4 地域の診療所の外来患者対応割合＝ $\frac{\text{地域の診療所の外来延べ患者数}}{\text{地域の診療所} + \text{病院の外来延べ患者数}}$

【データの出所】

(1) 診療所従事医師数・・・医師・歯科医師・薬剤師調査(2016年度)12月31日現在の医療施設(病院及び診療所)従事医師数のうち、診療所従事医師数(性・年齢階級別医師数)。

(2) 労働時間調整係数・・・平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」(研究班)より、診療所従事医師の性・年齢階級別の平均労働時間を用いて、以下の方法で算出。

$$\text{当該地域の労働時間調整係数} = \frac{\Sigma(\text{当該地域の性・年齢階級別診療所従事医師数} \times \text{性・年齢階級別医師の平均労働時間数})}{\text{全医師の平均労働時間数}} \div \text{当該地域の診療所従事医師数}$$

(3) 人口・・・住民基本台帳人口(2018年1月1日現在)(外国人含む、性・年齢階級別の人口)。

(4) 昼夜間人口比・・・国勢調査(2015年)当該地域の夜間人口あたりの昼間人口比(性・年齢階級別)。

(5) 外来標準化受療率比(昼間人口)

(5-1) 全国の性・年齢階級別の外来受療率・・・患者調査(2017年)全国の性・年齢階級別の外来患者数を用いて、以下の方法で算出。

$$\text{全国の性・年齢階級別の外来受療率} = \frac{[\text{全国の性・年齢階級別の外来患者数}]}{[\text{全国の性・年齢階級別の人口(2018年1月1日現在の住民基本台帳人口)}]}$$

(5-2) 地域の外来期待受療率(昼間人口)・・・「全国の性・年齢階級別の外来受療率」、「当該地域の性・年齢階級別人口」を用いて、当該地域の外来期待受療率を以下の方法で算出する。

$$\text{当該地域の外来期待受療率(昼間人口)} = \frac{[\text{全国の性・年齢階級別の外来受療率} \times \text{当該地域の性・年齢階級別人口} \times \text{当該地域の性・年齢階級別昼夜間人口比}]}{[\text{当該地域の人口} \times \text{当該地域の昼夜間人口比}]}$$

(5-3) 地域の外来標準化受療率比(昼間人口)

$$\text{当該地域の外来標準化受療率比(昼間人口)} = \frac{\text{当該外来期待受療率(昼間人口)}}{\text{全国の外来期待受療率}}$$

(6) 診療所外来患者対応割合・・・NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成29年4月から30年3月までの診療分データ(12か月)に基づき抽出・集計したもの。

$$\text{診療所外来患者対応割合} = \frac{(\text{当該地域内の診療所の外来患者延数})}{(\text{当該地域内の診療所の外来患者延数} + \text{当該地域内の病院の外来患者延数})}$$

※ ここでの外来患者延数は、NDBデータにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診及び往診・在宅訪問診療の診療行為の算定回数を合算したもの。

図表1-2 外来医療に係るデータ

【注】日本標準データ、資料1-1の診療科別病床数を示すが、都道府県の程度が二次医療圏の施設数を特定可能な場合は、1-3以外の施設数でも用いられる。

圏域区分	圏域名	人口(10万人)	医療施設数		医療施設標準医師数(人)		外来患者延数(回/月)		外来施設数(月平均施設数)		通院外来患者延数(回/月)		通院外来患者延数(月平均施設数)	
			医療施設数(病院)	医療施設数(一般診療所)	病院医師数	一般診療所医師数	外来患者延数(病院)	外来患者延数(一般診療所)	外来施設数(病院)	外来施設数(一般診療所)	通院外来患者延数(病院)	通院外来患者延数(一般診療所)	通院外来患者延数(病院)	通院外来患者延数(一般診療所)
全国	00 全国	1,277.1	5,412	98,620	202,302	102,457	31,557,259	97,118,207	8,277	79,995	31,376,342	95,854,271	8,277	79,978
都道府県	33 岡山県	19.2	163	1,607	4,017	1,735	590,303	1,435,932	162	1,243	585,989	1,411,888	162	1,243
二次医療圏	3301 東部	9.1	77	843	2,270	975	244,900	738,467	77	657	243,422	725,415	77	657
二次医療圏	3302 東南部	7.2	53	493	1,452	532	245,138	514,647	52	396	243,257	506,846	52	396
二次医療圏	3303 高梁・新見	0.6	8	64	46	38	25,748	25,486	8	41	25,748	24,934	8	41
二次医療圏	3304 真庭	0.5	7	44	44	34	20,133	28,311	7	31	20,004	27,866	7	31
二次医療圏	3305 津山・美田	1.8	18	162	203	156	54,384	129,022	18	113	53,556	126,826	18	113

圏域区分	圏域名	通院外来患者延数(回/月)		通院外来患者延数(月平均施設数)		在宅患者延数(回/月)		在宅患者延数(月平均施設数)		在宅患者延数(回/月)		在宅患者延数(月平均施設数)	
		通院外来患者延数(病院)	通院外来患者延数(一般診療所)	通院外来患者延数(病院)	通院外来患者延数(一般診療所)	在宅患者延数(病院)	在宅患者延数(一般診療所)	在宅患者延数(病院)	在宅患者延数(一般診療所)	在宅患者延数(病院)	在宅患者延数(一般診療所)	在宅患者延数(病院)	在宅患者延数(一般診療所)
全国	00 全国	829,374	985,287	6,489	34,523	13,614	199,048	1,936	21,317	167,314	1,264,888	3,003	21,507
都道府県	33 岡山県	16,313	11,840	141	606	247	2,754	51	403	4,066	21,290	69	457
二次医療圏	3301 東部	6,412	6,175	63	325	113	1,409	22	210	1,364	11,641	26	245
二次医療圏	3302 東南部	7,633	4,265	47	196	109	944	17	128	1,771	6,858	26	133
二次医療圏	3303 高梁・新見	514	154	8	13	*	121	*	15	*	430	*	18
二次医療圏	3304 真庭	532	363	7	18	*	51	*	13	*	392	*	15
二次医療圏	3305 津山・美田	1,223	880	16	54	16	228	8	37	807	1,967	10	48

【データの出所】

- (1) 人口・・・住民基本台帳人口(2018年1月1日現在)(外国人含む)
- (2) 医療施設数・・・医療施設調査(2017年)10月1日現在の病院数及び一般診療所数。病院票は、診療科目単科のうち、精神科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、及び歯科系の診療科(前での4つの歯科を除いたもの)の医療施設数。一般診療所票は、主な診療科目のうち、精神科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科を除いたもの医療施設数。
- (3) 医療施設従事医師数・・・医師・歯科医師・薬剤師調査(2016年)12月31日現在の医療施設(病院及び診療所)従事医師数
- (4) 外来患者延数・・・NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成29年4月から30年3月までの診療分データ(12か月)に基づき抽出・集計したもの。外来患者延数は、NDBデータにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料、及び往診・在宅訪問診療の診療行為の算定回数を病院・診療所別に合算したもの(月平均算定回数)。
- (5) 外来施設数・・・NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成29年4月から30年3月までの診療分データ(12か月)に基づき抽出・集計したもの。外来施設数は、NDBデータにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料、及び往診・在宅訪問診療の診療行為が算定された病院数及び診療所数(月平均施設数)。
- (6) 通院外来患者延数・・・NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成29年4月から30年3月までの診療分データ(12か月)に基づき抽出・集計したもの。通院外来患者延数は、NDBデータにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料の診療行為の算定回数を病院・診療所別に合算したもの(月平均算定回数)。

【データの出所】 続き

- (7) 通院外来施設数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。通院外来施設数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料の診療行為が算定された病院数及び診療所数(月平均施設数)。
- (8) 時間外等外来患者延数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。時間外等外来患者延数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料の時間外等加算(時間外、夜間、休日、深夜)の診療行為の算定回数を病院・診療所別に合算したもの(月平均算定回数)。
- (9) 時間外等外来施設数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。時間外等外来施設数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の初診・再診、外来診療料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料の診療行為が算定された病院数及び診療所数(月平均施設数)。
- (10) 往診患者延数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。往診患者延数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の往診の診療行為の算定回数を病院・診療所別に合算したもの(月平均算定回数)。
- (11) 往診実施施設数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。往診実施施設数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の往診の診療行為が算定された病院数及び診療所数(月平均施設数)。
- (12) 在宅患者訪問診療患者延数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。在宅患者訪問診療患者延数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の在宅患者訪問診療の診療行為の算定回数を病院・診療所別に合算したもの(月平均算定回数)。
- (13) 在宅患者訪問診療実施施設数・・・ NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の平成 29 年 4 月から 30 年 3 月までの診療分データ(12 か月)に基づき抽出・集計したもの。在宅患者訪問診療実施施設数は、NDB データにおける医科レセプト(入院外)の在宅患者訪問診療の診療行為が算定された病院数及び診療所数(月平均施設数)。

図表1-3 市町村別診療所従事医師数

保健医療圏別	市町村別	診療所従事医師数	人口(H30.1.1)	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	835	709,188	117.7
	玉野市	45	60,458	74.4
	備前市	24	35,293	68.0
	瀬戸内市	25	37,741	66.2
	赤磐市	36	44,461	81.0
	和気町	6	14,452	41.5
	吉備中央町	4	11,837	33.8
	県南東部 小計	975	913,430	106.7
県南西部保健医療圏	倉敷市	384	483,901	79.4
	笠岡市	28	49,538	56.5
	井原市	28	41,160	68.0
	総社市	53	68,586	77.3
	浅口市	19	34,806	54.6
	早島町	9	12,490	72.1
	里庄町	3	11,195	26.8
	矢掛町	8	14,443	55.4
	県南西部 小計	532	716,119	74.3
高梁・新見保健医療圏	高梁市	24	31,273	76.7
	新見市	14	30,236	46.3
	高梁・新見 小計	38	61,509	61.8
真庭保健医療圏	真庭市	33	46,482	71.0
	新庄村	1	956	104.6
	真庭 小計	34	47,438	71.7
津山・英田保健医療圏	津山市	106	102,276	103.6
	美作市	24	28,292	84.8
	鏡野町	7	13,211	53.0
	勝央町	5	11,183	44.7
	奈義町	6	6,118	98.1
	西粟倉村	0	1,487	0.0
	久米南町	2	4,935	40.5
	美咲町	6	14,621	41.0
	津山・英田 小計	156	182,123	85.7
県計		1,735	1,920,619	90.3

※1 診療所医師数は、平成28年度医師・歯科医師・薬剤師調査
平成28年12月31日現在の医療施設(病院及び診療所)従事医師数のうち、診療所従事医師数。
(性別・年齢階級による調整は行っていない。)

※2 人口は、2018年1月1日現在の住民基本台帳人口。

2 外来医師多数区域

外来医師偏在指標の値が全国の二次医療圏の中で上位 33.3%に該当する二次医療圏を外来医師多数区域と設定することとします。

県内では、県南東部保健医療圏及び県南西部保健医療圏、真庭保健医療圏、津山・英田保健医療圏を外来医師多数区域とします。

現状	課題
○県内各二次医療圏における、外来医師偏在指標による外来医師多数区域は、次のとおりとなっています。 (外来医師多数区域)	○新たに開業しようとしている医療関係者等が自主的な経営判断に当たって必要な情報を提供することで、個々の医師の行動変容を促し、外来医療の偏在是正につなげていく必要

<p> 県南東部保健医療圏 県南西部保健医療圏 真庭保健医療圏 津山・英田保健医療圏 (外来医師多数区域以外の区域) 高梁・新見保健医療圏 (平成28(2016)年12月31日現在) </p>	<p> があります。 ○地域における外来医療機能等の不足している機能を充実していく必要があります。 </p>
--	---

章名	2 外来医療の現状
節名	2 外来医療提供体制の現状

県内各二次医療圏における、現状の外来医療提供体制は、次のとおりとなっています。

現状	
<p>県内の外来医療提供体制は次のとおりとなっています。(出典:「おかやま医療情報ネット」に掲載されている情報を分析したもの)</p>	
1 内科	<p>外来医療を提供している診療所は803カ所で、その内、約52%が県南東部保健医療圏にあり、約31%が県南西部保健医療圏にあります。</p>
2 呼吸器内科	<p>外来医療を提供している診療所は145カ所で、その内、約57%が県南東部保健医療圏にあり、約34%が県南西部保健医療圏にあります。他の高梁・新見保健医療圏、真庭保健医療圏、津山・英田保健医療圏には、合わせて約9%しかありません。</p>
3 循環器内科	<p>外来医療を提供している診療所は173カ所で、その内、約54%が県南東部保健医療圏にあり、約31%が県南西部保健医療圏にあります。</p>
4 消化器科	<p>外来医療を提供している診療所は196カ所で、その内、約56%が県南東部保健医療圏にあり、約28%が県南西部保健医療圏にあります。</p>
5 心療内科	<p>外来医療を提供している診療所は66カ所で、その内、約68%が県南東部保健医療圏に集中し、約26%が県南西部保健医療圏にあります。他の高梁・新見保健医療圏、真庭保健医療圏、津山・英田保健医療圏には、合わせて約6%しかありません。</p>
6 精神科	<p>外来医療を提供している診療所は76カ所で、その内、約66%が県南東部保健医療圏に集中し、約26%が県南西部保健医療圏にあります。他の高梁・新見保健医療圏、真庭保健医療圏、津山・英田保健医療圏には、合わせて約8%しかありません。</p>
7 産婦人科	<p>外来医療を提供している診療所は37カ所で、その内、約57%が県南東部保健医療圏に、約27%が県南西部保健医療圏にあります。高梁・新見保健医療圏には2カ所、真</p>

庭保健医療圏にはありません。

8 婦人科

外来医療を提供している診療所は15カ所で、その内、約80%が 県南東部保健医療圏にあります。真庭保健医療圏、津山・英田保健医療圏にはありません。

9 小児科

外来医療を提供している診療所は384カ所で、その内、約51%が 県南東部保健医療圏に、約33%が県南西部保健医療圏にあります。県内のほとんどの市町村において小児科医療は提供されています。

10 外科

外来医療を提供している診療所は165カ所で、その内、約55%が 県南東部保健医療圏に、約27%が県南西部保健医療圏にあります。

11 整形外科

外来医療を提供している診療所は176カ所で、その内、約54%が 県南東部保健医療圏に、約32%が県南西部保健医療圏にあります。県北の一部を除き、ほとんどの市町村において整形外科医療は提供されています。

12 眼科

外来医療を提供している診療所は120カ所で、その内、約50%が 県南東部保健医療圏に、約37%が県南西部保健医療圏にあります。県北の一部を除き、ほとんどの市町村において、眼科医療は提供されています。

13 耳鼻咽喉科

外来医療を提供している診療所は98カ所で、その内、約55%が 県南東部保健医療圏に、約36%が県南西部保健医療圏にあります。県北の一部を除き、ほとんどの市町村において、耳鼻咽喉科医療は提供されています。

14 皮膚科

外来医療を提供している診療所は136カ所で、その内、約60%が 県南東部保健医療圏に、約29%が県南西部保健医療圏にあります。県北の一部を除き、ほとんどの市町村において、皮膚科医療は提供されています。

(令和元年10月1日現在)

図表2-1 診療科別外来医療機関数(内科)

保健医療圏別	市町村別	診療所		病院	
		診療所	人口10万人当たり	人口10万人当たり	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	322	44.7	47	6.5
	玉野市	21	36.4	7	12.1
	備前市	18	54.8	3	9.1
	瀬戸内市	21	58.4	2	5.6
	赤磐市	19	44.6	1	2.3
	和氣町	7	51.1	2	14.6
	吉備中央町	8	73.5	2	18.4
	県南東部 小計	416	45.5	64	7.0
県南西部保健医療圏	倉敷市	161	33.8	31	6.5
	笠岡市	22	46.7	4	8.5
	井原市	16	40.8	2	5.1
	総社市	23	33.7	3	4.4
	浅口市	11	33.3	3	9.1
	早島町	4	32.2	1	8.1
	里庄町	2	18.2	1	9.1
	矢掛町	6	44.3	2	14.8
県南西部 小計	245	35.0	47	6.7	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	18	60.3	3	10.0
	新見市	20	70.6	4	14.1
	高梁・新見 小計	38	65.3	7	12.0
真庭保健医療圏	真庭市	25	57.8	6	13.9
	新庄村	1	122.7	0	0.0
	真庭 小計	26	59.0	6	13.6
津山・英田保健医療圏	津山市	48	47.8	8	8.0
	美作市	14	53.7	3	11.5
	備前町	7	58.0	2	16.6
	勝央町	4	36.5	1	9.1
	奈義町	3	54.1	0	0.0
	西粟倉村	1	71.0	0	0.0
	久米南町	2	43.7	0	0.0
	美咲町	2	15.0	1	7.5
	津山・英田 小計	81	46.5	15	8.6
県計	806	42.6	139	7.3	

【データの出所】(図表2-1~2-14)

(1) 診療所及び病院の数は、おかやま医療情報ネットに当該診療科目が登録された診療所及び病院をカウントした。(診療科目が複数ある場合、それぞれの科目でカウントしている)。(令和元年10月1日現在)

ただし、外来受付時間の登録があり、診療対象の制限がないものに限る。

(2) 市町村別人口は、岡山県毎月流動人口調査(年報)令和元年10月1日現在)を使用。

図表2-2 診療科別外来医療機関数(呼吸器内科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	71	9.8	17	2.4
	玉野市	3	5.2	1	1.7
	備前市	2	6.1	2	6.1
	瀬戸内市	2	5.6	0	0.0
	赤磐市	2	4.7	0	0.0
	和気町	2	14.6	0	0.0
	吉備中央町	0	0.0	0	0.0
	県南東部 小計	82	9.0	20	2.2
県南西部保健医療圏	倉敷市	33	6.9	15	3.2
	笠岡市	6	12.7	2	4.2
	井原市	3	7.7	0	0.0
	総社市	3	4.4	1	1.5
	浅口市	2	6.0	0	0.0
	早島町	2	16.1	1	8.1
	里庄町	0	0.0	1	9.1
	矢掛町	1	7.4	0	0.0
県南西部 小計	50	7.1	20	2.9	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	0	0.0	1	3.3
	新見市	0	0.0	0	0.0
	高梁・新見 小計	0	0.0	1	1.7
真庭保健医療圏	真庭市	3	6.9	4	9.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	3	6.8	4	9.1
津山・英田保健医療圏	津山市	8	8.0	2	2.0
	美作市	0	0.0	0	0.0
	鐘野町	0	0.0	0	0.0
	勝央町	2	18.2	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	10	5.7	3	1.7
県計		145	7.7	48	2.5

図表2-3 診療科別外来医療機関数(循環器内科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	78	10.8	29	4.0
	玉野市	5	8.7	1	1.7
	備前市	2	6.1	3	9.1
	瀬戸内市	3	8.3	1	2.8
	赤磐市	4	9.4	1	2.3
	和気町	2	14.6	2	14.6
	吉備中央町	0	0.0	0	0.0
	県南東部 小計	94	10.3	37	4.0
県南西部保健医療圏	倉敷市	37	7.8	19	4.0
	笠岡市	3	6.4	3	6.4
	井原市	4	10.2	2	5.1
	総社市	6	8.8	0	0.0
	浅口市	3	9.1	2	6.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	0	0.0	1	9.1
	矢掛町	1	7.4	0	0.0
県南西部 小計	54	7.7	27	3.9	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	0	0.0	2	6.7
	新見市	1	3.5	2	7.1
	高梁・新見 小計	1	1.7	4	6.9
真庭保健医療圏	真庭市	5	11.6	3	6.9
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	5	11.4	3	6.8
津山・英田保健医療圏	津山市	11	11.0	5	5.0
	美作市	4	15.3	1	3.8
	鐘野町	0	0.0	0	0.0
	勝央町	3	27.4	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	1	21.8	0	0.0
	美咲町	0	0.0	1	7.5
	津山・英田 小計	19	10.9	8	4.6
県計		173	9.1	79	4.2

図表2-4 診療科別外来医療機関数(消化器科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	94	13.0	21	2.9
	玉野市	4	6.9	2	3.5
	備前市	3	9.1	2	6.1
	瀬戸内市	3	8.3	1	2.8
	赤磐市	3	7.0	0	0.0
	和気町	2	14.6	0	0.0
	吉備中央町	0	0.0	1	9.2
	県南東部 小計	109	11.9	27	3.0
県南西部保健医療圏	倉敷市	41	8.6	15	3.2
	笠岡市	5	10.6	2	4.2
	井原市	1	2.6	0	0.0
	総社市	4	5.9	2	2.9
	浅口市	1	3.0	0	0.0
	早島町	0	0.0	1	8.1
	里庄町	0	0.0	0	0.0
	矢掛町	3	22.1	0	0.0
県南西部 小計	55	7.9	20	2.9	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	2	6.7
	新見市	1	3.5	0	0.0
	高梁・新見 小計	2	3.4	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	8	18.5	4	9.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	8	18.2	4	9.1
津山・英田保健医療圏	津山市	14	13.9	6	6.0
	美作市	3	11.5	0	0.0
	鐘野町	1	8.3	1	8.3
	勝央町	4	36.5	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	22	12.6	8	4.6
県計		196	10.4	61	3.2

図表2-5 診療科別外来医療機関数(心療内科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	41	5.7	9	1.2
	玉野市	2	3.5	2	3.5
	備前市	1	3.0	0	0.0
	瀬戸内市	0	0.0	1	2.8
	赤磐市	0	0.0	0	0.0
	和気町	0	0.0	0	0.0
	吉備中央町	1	9.2	0	0.0
	県南東部 小計	45	4.9	12	1.3
県南西部保健医療圏	倉敷市	13	2.7	1	0.2
	笠岡市	2	4.2	1	2.1
	井原市	0	0.0	0	0.0
	総社市	2	2.9	0	0.0
	浅口市	0	0.0	0	0.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	0	0.0	1	9.1
	矢掛町	0	0.0	0	0.0
県南西部 小計	17	2.4	3	0.4	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	0	0.0	2	6.7
	新見市	1	3.5	0	0.0
	高梁・新見 小計	1	1.7	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	0	0.0	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	0	0.0	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	2	2.0	2	2.0
	美作市	0	0.0	0	0.0
	鐘野町	1	8.3	0	0.0
	勝央町	0	0.0	0	0.0
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	3	1.7	2	1.1
県計		66	3.5	20	1.1

図表2-6 診療科別外来医療機関数(精神科)

保健医療圏別	市町村別	診療所		病院	
			人口10万人当たり		人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	44	6.1	19	2.6
	玉野市	3	5.2	3	5.2
	備前市	1	3.0	1	3.0
	瀬戸内市	0	0.0	1	2.8
	赤磐市	1	2.3	0	0.0
	和気町	0	0.0	0	0.0
	吉備中央町	1	9.2	0	0.0
	県南東部 小計	50	5.5	24	2.6
県南西部保健医療圏	倉敷市	15	3.2	11	2.3
	笠岡市	2	4.2	2	4.2
	井原市	1	2.6	0	0.0
	総社市	2	2.9	0	0.0
	浅口市	0	0.0	0	0.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	0	0.0	1	9.1
	矢掛町	0	0.0	0	0.0
県南西部 小計	20	2.9	14	2.0	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	2	6.7	2	6.7
	新見市	1	3.5	0	0.0
	高梁・新見 小計	3	5.2	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	0	0.0	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	0	0.0	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	3	3.0	2	2.0
	美作市	0	0.0	0	0.0
	鐘野町	0	0.0	0	0.0
	勝央町	0	0.0	0	0.0
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	3	1.7	2	1.1
県計	76	4.0	43	2.3	

図表2-7 診療科別外来医療機関数(産婦人科)

保健医療圏別	市町村別	診療所		病院	
			人口10万人当たり		人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	19	2.6	7	1.0
	玉野市	1	1.7	0	0.0
	備前市	0	0.0	0	0.0
	瀬戸内市	0	0.0	0	0.0
	赤磐市	1	2.3	0	0.0
	和気町	0	0.0	0	0.0
	吉備中央町	0	0.0	0	0.0
	県南東部 小計	21	2.3	7	0.8
県南西部保健医療圏	倉敷市	7	1.5	6	1.3
	笠岡市	1	2.1	1	2.1
	井原市	0	0.0	0	0.0
	総社市	2	2.9	0	0.0
	浅口市	0	0.0	0	0.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	0	0.0	0	0.0
	矢掛町	0	0.0	0	0.0
県南西部 小計	10	1.4	7	1.0	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	0	0.0
	新見市	1	3.5	0	0.0
	高梁・新見 小計	2	3.4	0	0.0
真庭保健医療圏	真庭市	0	0.0	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	0	0.0	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	3	3.0	2	2.0
	美作市	1	3.8	0	0.0
	鐘野町	0	0.0	0	0.0
	勝央町	0	0.0	0	0.0
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
津山・英田 小計	4	2.3	2	1.1	
県計	37	2.0	17	0.9	

図表2-8 診療科別外来医療機関数(婦人科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	10	1.4	11	1.5
	玉野市	1	1.7	1	1.7
	備前市	1	3.0	3	9.1
	瀬戸内市	0	0.0	0	0.0
	赤磐市	0	0.0	0	0.0
	和気町	0	0.0	0	0.0
	吉備中央町	0	0.0	0	0.0
	県南東部 小計	12	1.3	15	1.6
県南西部保健医療圏	倉敷市	2	0.4	4	0.8
	笠岡市	0	0.0	0	0.0
	井原市	0	0.0	1	2.6
	総社市	0	0.0	0	0.0
	浅口市	0	0.0	0	0.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	0	0.0	0	0.0
	矢掛町	0	0.0	1	7.4
県南西部 小計	2	0.3	6	0.9	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	1	3.3
	新見市	0	0.0	1	3.5
	高梁・新見 小計	1	1.7	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	0	0.0	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	0	0.0	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	0	0.0	0	0.0
	美作市	0	0.0	0	0.0
	鐘野町	0	0.0	0	0.0
	勝央町	0	0.0	0	0.0
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	0	0.0	0	0.0
県計		15	0.8	24	1.3

図表2-9 診療科別外来医療機関数(小児科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	155	21.5	18	2.5
	玉野市	11	19.1	1	1.7
	備前市	8	24.4	1	3.0
	瀬戸内市	10	27.8	1	2.8
	赤磐市	7	16.4	0	0.0
	和気町	3	21.9	0	0.0
	吉備中央町	2	18.4	0	0.0
	県南東部 小計	196	21.4	21	2.3
県南西部保健医療圏	倉敷市	80	16.8	11	2.3
	笠岡市	11	23.4	3	6.4
	井原市	11	28.1	2	5.1
	総社市	11	16.1	0	0.0
	浅口市	9	27.2	2	6.0
	早島町	1	8.1	1	8.1
	里庄町	0	0.0	0	0.0
	矢掛町	3	22.1	2	14.8
県南西部 小計	126	18.0	21	3.0	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	5	16.7	1	3.3
	新見市	10	35.3	1	3.5
	高梁・新見 小計	15	25.8	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	11	25.4	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	11	25.0	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	19	18.9	1	1.0
	美作市	7	26.9	2	7.7
	鐘野町	4	33.1	1	8.3
	勝央町	3	27.4	0	0.0
	奈義町	1	18.0	0	0.0
	西粟倉村	1	71.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	1	7.5	1	7.5
	津山・英田 小計	36	20.7	5	2.9
県計		384	20.3	50	2.6

図表2-10 診療科別外来医療機関数(外科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	63	8.7	29	4.0
	玉野市	5	8.7	4	6.9
	備前市	6	18.3	4	12.2
	瀬戸内市	7	19.5	1	2.8
	赤磐市	7	16.4	1	2.3
	和気町	1	7.3	2	14.6
	吉備中央町	2	18.4	0	0.0
県南東部 小計	91	10.0	41	4.5	
県南西部保健医療圏	倉敷市	29	6.1	22	4.6
	笠岡市	4	8.5	3	6.4
	井原市	1	2.6	1	2.6
	総社市	6	8.8	3	4.4
	浅口市	2	6.0	2	6.0
	早島町	0	0.0	0	0.0
	里庄町	1	9.1	1	9.1
矢掛町	1	7.4	1	7.4	
県南西部 小計	44	6.3	33	4.7	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	6	20.1	3	10.0
	新見市	2	7.1	2	7.1
	高梁・新見 小計	8	13.8	5	8.6
真庭保健医療圏	真庭市	9	20.8	6	13.9
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	9	20.4	6	13.6
津山・英田保健医療圏	津山市	9	9.0	2	2.0
	美作市	3	11.5	2	7.7
	鐘野町	0	0.0	2	16.6
	勝央町	0	0.0	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	1	7.5	1	7.5
津山・英田 小計	13	7.5	8	4.6	
県計		165	8.7	93	4.9

図表2-11 診療科別外来医療機関数(整形外科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	75	10.4	29	4.0
	玉野市	5	8.7	6	10.4
	備前市	4	12.2	4	12.2
	瀬戸内市	3	8.3	1	2.8
	赤磐市	6	14.1	1	2.3
	和気町	0	0.0	1	7.3
	吉備中央町	2	18.4	1	9.2
県南東部 小計	95	10.4	43	4.7	
県南西部保健医療圏	倉敷市	38	8.0	21	4.4
	笠岡市	3	6.4	3	6.4
	井原市	4	10.2	2	5.1
	総社市	5	7.3	2	2.9
	浅口市	3	9.1	2	6.0
	早島町	1	8.1	1	8.1
	里庄町	1	9.1	1	9.1
矢掛町	1	7.4	1	7.4	
県南西部 小計	56	8.0	33	4.7	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	3	10.0
	新見市	0	0.0	2	7.1
	高梁・新見 小計	1	1.7	5	8.6
真庭保健医療圏	真庭市	7	16.2	6	13.9
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	7	15.9	6	13.6
津山・英田保健医療圏	津山市	13	12.9	2	2.0
	美作市	2	7.7	2	7.7
	鐘野町	1	8.3	2	16.6
	勝央町	0	0.0	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	1	71.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
津山・英田 小計	17	9.8	7	4.0	
県計		176	9.3	94	5.0

図表2-12 診療科別外来医療機関数(眼科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	51	7.1	20	2.8
	玉野市	2	3.5	1	1.7
	備前市	1	3.0	3	9.1
	瀬戸内市	2	5.6	1	2.8
	赤磐市	2	4.7	0	0.0
	和気町	1	7.3	1	7.3
	吉備中央町	1	9.2	0	0.0
	県南東部 小計	60	6.6	26	2.8
県南西部保健医療圏	倉敷市	34	7.1	12	2.5
	笠岡市	2	4.2	2	4.2
	井原市	2	5.1	1	2.6
	総社市	3	4.4	0	0.0
	浅口市	1	3.0	1	3.0
	早島町	1	8.1	0	0.0
	里庄町	1	9.1	0	0.0
	矢掛町	0	0.0	1	7.4
県南西部 小計	44	6.3	17	2.4	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	2	6.7
	新見市	2	7.1	1	3.5
	高梁・新見 小計	3	5.2	3	5.2
真庭保健医療圏	真庭市	3	6.9	4	9.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	3	6.8	4	9.1
津山・英田保健医療圏	津山市	8	8.0	2	2.0
	美作市	1	3.8	1	3.8
	鐘野町	1	8.3	0	0.0
	勝央町	0	0.0	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	10	5.7	4	2.3
県計		120	6.3	54	2.9

図表2-13 診療科別外来医療機関数(耳鼻咽喉科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり	病院	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	44	6.1	13	1.8
	玉野市	3	5.2	2	3.5
	備前市	3	9.1	0	0.0
	瀬戸内市	1	2.8	1	2.8
	赤磐市	3	7.0	0	0.0
	和気町	0	0.0	0	0.0
	吉備中央町	0	0.0	0	0.0
	県南東部 小計	54	5.9	16	1.7
県南西部保健医療圏	倉敷市	25	5.3	10	2.1
	笠岡市	2	4.2	0	0.0
	井原市	1	2.6	2	5.1
	総社市	3	4.4	0	0.0
	浅口市	2	6.0	1	3.0
	早島町	1	8.1	1	8.1
	里庄町	1	9.1	0	0.0
	矢掛町	0	0.0	1	7.4
県南西部 小計	35	5.0	15	2.1	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	1	3.3	2	6.7
	新見市	1	3.5	0	0.0
	高梁・新見 小計	2	3.4	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	3	6.9	1	2.3
	新庄村	0	0.0	0	0.0
	真庭 小計	3	6.8	1	2.3
津山・英田保健医療圏	津山市	3	3.0	3	3.0
	美作市	1	3.8	0	0.0
	鐘野町	0	0.0	1	8.3
	勝央町	0	0.0	1	9.1
	奈義町	0	0.0	0	0.0
	西粟倉村	0	0.0	0	0.0
	久米南町	0	0.0	0	0.0
	美咲町	0	0.0	0	0.0
	津山・英田 小計	4	2.3	5	2.9
県計		98	5.2	39	2.1

図表2-14 診療科別外来医療機関数(皮膚科)

保健医療圏別	市町村別	診療所	人口10万人当たり
県南東部保健医療圏	岡山市	68	9.4
	玉野市	3	5.2
	備前市	3	9.1
	瀬戸内市	2	5.6
	赤磐市	3	7.0
	和気町	1	7.3
	吉備中央町	2	18.4
	県南東部 小計	82	9.0
県南西部保健医療圏	倉敷市	28	5.9
	笠岡市	1	2.1
	井原市	2	5.1
	総社市	3	4.4
	浅口市	1	3.0
	早島町	1	8.1
	里庄町	1	9.1
	矢掛町	2	14.8
県南西部 小計	39	5.6	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	0	0.0
	新見市	2	7.1
	高梁・新見 小計	2	3.4
真庭保健医療圏	真庭市	2	4.6
	新庄村	0	0.0
	真庭 小計	2	4.5
津山・英田保健医療圏	津山市	7	7.0
	美作市	1	3.8
	饒野町	0	0.0
	勝央町	2	18.2
	奈義町	0	0.0
	西粟倉村	1	71.0
	久米南町	0	0.0
	美咲町	0	0.0
津山・英田 小計	11	6.3	
県計		136	7.2

病院	人口10万人当たり
22	3.1
2	3.5
2	6.1
1	2.8
0	0.0
1	7.3
1	9.2
29	3.2
17	3.6
3	6.4
1	2.6
1	1.5
2	6.0
1	8.1
1	9.1
1	7.4
27	3.9
3	10.0
1	3.5
4	6.9
4	9.3
0	0.0
4	9.1
2	2.0
1	3.8
0	0.0
1	9.1
0	0.0
0	0.0
0	0.0
4	2.3
68	3.6

章名	3 新規開業者に求める事項
節名	1 外来医師多数区域

1 現状と課題

外来医師多数区域における外来医療機能は、次のとおりとなっています。

現状	課題
<p>外来医師多数区域における、外来医療機能は、次のとおりとなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県南東部保健医療圏 ○ 県南西部保健医療圏 ○ 真庭保健医療圏 	<p>外来医師多数区域における、外来医療機能の課題は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県南東部保健医療圏 ○ 県南西部保健医療圏 ○ 真庭保健医療圏
<ul style="list-style-type: none"> ○ 津山・英田保健医療圏 <p>津山・英田保健医療圏は、外来医師多数区域に位置づけられていますが、近年、医師の高齢化や後継者不足により診療所数は減少傾向にあり、今後外来医師数の減少等も含め、地域における外来医療機能の確保が困難になっていくことが懸念されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療提供体制 <p>在宅患者訪問診療実施医療機関は、病院10カ所、診療所45カ所、計55カ所となっており、全体の約30%を占めています。</p> <p>訪問看護ステーションなど多職種との医療連携を推進しながら在宅医療を確保してきましたが、中には24時間体制維持など訪問診療の提供に苦慮している医療機関も見受けられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期救急医療提供体制 <p>休日昼間の医療は、各地域医師会の協力を得て在宅当番制で提供されていますが、診療所の閉院や医師の高齢化等に伴い、参加できる医療機関数は年々減少しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆衛生提供体制 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津山・英田保健医療圏 <p>在宅医療提供体制については、今後の需要増加を考慮すると将来に向けた充足が必要です。</p> <p>初期救急医療提供体制を引き続き維持していくためには、新規開業者に積極的に参加を促していく必要があります。</p>

<p>学校医については、医師等確保が困難な一部の診療科をはじめ圏域全域で不足しており、これを担う医師も高齢化しています。</p> <p>産業医については、メンタルヘルスを含む労働安全の強化が求められており、医師の高齢化から今後不足する状況が懸念されます。</p> <p>・その他</p> <p>その他の外来医療機能として、介護認定審査会、乳幼児健診等においても地域の医師会が役割を担っており、高齢化や後継者問題から、今後健診等の実施が困難になっていくことが見込まれます。</p>	<p>学校医、産業医、予防接種については、新規開業者や診療所の後継者等新たに医業を行う者に積極的に参加を促していく必要があります。</p> <p>介護認定審査会委員、乳幼児健診等が担える医師が確保できるよう新規開業者に参加を促していく必要があります。</p>
---	---

2 施策の方向

外来医師多数区域において、新規開業者の届け出の際に求める外来医療機能は、次のとおりとします。新規開業の際には、地域で不足する外来医療機能を担うことに、各地域医療構想調整会議において合意の状況を確認することとします。合意がない場合等の新規開業者が地域で不足する外来医療機能を担うことを拒否する場合等には、協議を行い、その協議結果を公表することとします。

項目	施策の方向
<p>新規開業者の届け出の際に求める事項</p>	<p>○津山・英田保健医療圏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療(在宅患者訪問診療、往診) ・初期救急医療(夜間・休日診療、在宅当番医に参加) ・公衆衛生(学校医、産業医、予防接種) ・その他(介護認定審査会、乳幼児健診等)

章名	3 新規開業者に求める事項
節名	2 外来医師多数区域以外の区域

1 現状と課題

外来医師多数区域以外の区域における外来医療機能は、次のとおりとなっています。

現状	課題
<p>外来医師多数区域以外の区域における、外来医療機能は、次のとおりとなっています。</p> <p>○高梁・新見保健医療圏</p>	<p>外来医師多数区域以外の区域における、外来医療機能の課題は次のとおりとなっています。</p> <p>○高梁・新見保健医療圏</p>

2 施策の方向

外来医師多数区域以外の区域において、新規開業者に求める外来医療機能は、次のとおりとなりますが、届け出の際の記載は不要とします。

項目	施策の方向
新規開業者の届け出の際に求める事項	○高梁・新見保健医療圏

章名	4 医療機器の効率的な活用
節名	1 医療機器の設置状況と保有状況

人口当たりの医療機器の台数には地域差があり、また、医療機器ごとに地域差の状況は異なっています。今後、人口減少が見込まれ、効率的な医療提供体制を構築する必要がある中、医療機器についても効率的に活用できるよう対応を行う必要があります。

したがって、医療機器の効率的な活用に資する施策として、地域の医療ニーズを踏まえた地域ごとの医療機器の設置状況を可視化する指標を作成し、医療機器を有する医療機関をマッピング(地図情報として可視化)した上で、新規購入希望者に対してこれらの情報を提供しつつ、各地域医療構想調整会議を活用し、医療機器の共同利用(対象となる医療機器について連携先の病院又は診療所から紹介された患者のために利用される場合を含む。)等について協議することとします。

1 医療機器の設置状況

県内各二次医療圏における、現状の医療機器の設置状況は、次のとおりとなっています。

現 状
医療機器の保有台数は、以下のとおりとなっています。
○県南東部保健医療圏
・病 院 CT 77台、MRI 44台、PET 5台、マンモグラフィー 17台、 放射線治療(体外照射) 11台
・診療所 CT 57台、MRI 15台、PET 2台、マンモグラフィー 15台
○県南西部保健医療圏
・病 院 CT 56台、MRI 34台、PET 4台、マンモグラフィー 22台、 放射線治療(体外照射) 6台
・診療所 CT 37台、MRI 7台、マンモグラフィー 6台
○高梁・新見保健医療圏
・病 院 CT 8台、MRI 5台、マンモグラフィー 3台
・診療所 CT 4台
○真庭保健医療圏
・病 院 CT 6台、MRI 2台、マンモグラフィー 4台
・診療所 CT 2台、MRI 1台
○津山・英田保健医療圏
・病 院 CT 18台、MRI 6台、PET 1台、マンモグラフィー 4台
・診療所 CT 10台、MRI 3台、マンモグラフィー 2台

(平成30(2018)年6月1日現在)

調整人口当たり医療機器台数は、以下のとおりとなっています。

○県南東部保健医療圏

全ての医療機器台数が、全国平均を上回っています。稼働率は、病院の放射線治療(体外照射)と診療所のCT、PETを除き、全国平均を下回っています。

○県南西部保健医療圏

放射線治療(体外照射)を除き、医療機器台数は全国平均を上回っています。稼働率は、病院のPETを除き、全国平均を下回っています。

○高梁・新見保健医療圏

全ての医療機器台数(保有している機器のみ)が、全国平均を上回っています。稼働率は、全ての医療機器台数(保有している機器のみ)が、全国平均を下回っています。

○真庭保健医療圏

MRIを除き、医療機器台数(保有している機器のみ)は全国平均を上回っています。稼働率は、全ての医療機器台数(保有している機器のみ)が、全国平均を下回っています。

○津山・英田保健医療圏

CTとPET台数は全国平均を上回っています。稼働率は、病院のCT、PET、マンモグラフィーが全国平均を上回っています。

図表 4-1 医療機器の設置状況

医療統計部
平成30年度医療統計設置データ

国地域分	都道府県名	保健圏名 平成30年4月時点	医療機関設置部				一般診療科設置部					
			CT	MRI	PET	マンモグラフィー	放射線治療(体外照射)	CT	MRI	PET	マンモグラフィー	放射線治療(体外照射)
全国	00 全国	00 全国	6,244	4,787	487	2,699	2,041	5,782	2,206	116	1,449	119
都道府県	00 岡山県	00 岡山県	165	91	10	50	17	110	24	3	23	0
三次医療圏	00 岡山県	0001 真庭保健圏	77	44	5	17	11	57	15	3	15	0
三次医療圏	00 岡山県	0002 高梁・新見保健圏	56	34	4	22	6	37	7	0	2	0
三次医療圏	00 岡山県	0003 高梁・新見保健圏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三次医療圏	00 岡山県	0004 高梁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三次医療圏	00 岡山県	0005 高梁・新見	15	0	1	0	0	10	2	0	0	0

図表 4-2 医療機器の調整人口あたり台数

医療機器の調整人口あたり台数

調査用 index	調査区分	都道府県名	医療機関 平成30年4月時点	調整人口あたり台数					人口10万人対設備台数(台/10万人)					医療機器台数/台数(性年齢調整) (性別・年齢)					医療機器台数/台数(性年齢調整) (性別・年齢)				
				CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療 (体外照射)	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療 (体外照射)	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療 (体外照射)	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療 (体外照射)
0000	全国	00 全国	00 全国	11.1	5.5	0.46	3.4	0.01	11.1	5.5	0.46	3.4	0.01	2,437	1,890	704	187	26	662	1,945	1,019	625	23
3300	関東甲信	33 岡山県	33 岡山県	13.8	5.9	0.61	3.9	0.85	14.3	6.1	0.67	3.8	0.89	2,208	1,782	683	482	26	718	1,583	2,382	267	-
3301	二次医療圏	33 岡山県	3301 島根県	14.6	6.5	0.77	3.5	1.21	14.7	6.5	0.77	3.5	1.20	2,157	1,786	301	654	30	840	1,812	2,387	304	-
3302	二次医療圏	33 岡山県	3302 島根県	12.7	5.7	0.55	4.0	0.82	13.0	5.7	0.58	3.9	0.84	2,322	1,867	1,052	441	20	679	1,526	-	249	-
3303	二次医療圏	33 岡山県	3303 瀬戸・新見	14.7	6.7	0.00	5.2	0.00	19.5	8.1	0.00	4.9	0.00	1,553	1,130	-	56	-	125	-	-	-	-
3304	二次医療圏	33 岡山県	3304 真庭	13.4	5.4	0.00	8.9	0.00	16.9	6.3	0.00	8.4	0.00	1,733	1,564	-	153	-	184	601	-	-	-
3305	二次医療圏	33 岡山県	3305 備前・真田	13.5	4.5	0.50	3.1	0.00	15.4	4.9	0.55	3.3	0.00	2,518	1,887	1,115	630	-	514	861	-	42	-

(参考)医療機器の効率的活用における性・年齢階級別検査率を用いた各地域の医療機器の設置状況に関する指標の計算方法

$$\text{調整人口あたり台数} = \frac{\text{地域の医療機器の台数}}{\frac{\text{地域の人口} \times \text{地域の標準化検査率比}(\ast 1)}{10 \text{万}}}$$

$$\ast 1 \text{ 地域の標準化検査率比} = \frac{\text{地域の性年齢調整人口あたり期待検査数(外来}(\ast 2))}{\text{全国の人口あたり期待検査数(外来)}}$$

$$\ast 2 \text{ 地域の人口あたり期待検査数} = \frac{\sum \text{全国の性年齢階級別検査数(外来)} \times \text{地域の性年齢階級別人口}}{\text{全国の性年齢階級別人口}} \times \text{地域の人口}$$

図表 4-3 医療機器の市町村別設置状況

保健医療圏別	市町村別	病院保有台数					一般診療所保有台数				
		CT	MR1	PET	放射線治療装置	マンモグラフィー	CT	MR1	PET	放射線治療装置	マンモグラフィー
県南東部保健医療圏	岡山市北区	45	22	1	8		6	0	0	0	
	岡山市中区	9	7	1	1		1	0	0	0	
	岡山市東区	8	3	1	1		2	1	0	0	
	岡山市南区	8	2	0	0		3	1	0	0	
	玉野市	6	3	0	0	17	0	0	0	0	15
	備前市	4	4	0	0		0	0	0	0	
	瀬戸内市	4	1	0	0		0	0	0	0	
	赤松市	1	1	0	0		0	0	0	0	
	和気町	2	1	0	0		0	0	0	0	
	吉備中央町	2	1	0	0		0	0	0	0	
小計	89	45	3	10	17	12	2	0	0	15	
県南西部保健医療圏	倉敷市	42	28	4	6		8	2	0	0	
	笠岡市	3	2	0	0		1	1	0	0	
	井原市	3	1	0	0	22	2	2	0	0	6
	総社市	2	0	0	0		2	0	0	0	
	浅口市	2	1	0	0		0	0	0	0	
	早島町	1	1	0	0		0	0	0	0	
	里庄町	1	0	0	0		1	0	0	0	
	矢掛町	1	1	0	0		0	0	0	0	
小計	55	34	4	6	22	14	5	0	0	6	
高梁・新見保健医療圏	高梁市	3	3	0	0		0	0	0	0	
	新見市	4	2	0	0	3	1	0	0	0	0
	小計	7	5	0	0	3	1	0	0	0	0
真庭保健医療圏	真庭市	3	3	0	0		0	0	0	0	
	新庄村	4	2	0	0	4	1	0	0	0	0
	小計	7	5	0	0	4	1	0	0	0	0
津山・英田保健医療圏	津山市	8	4	1	1		1	0	0	0	
	美作市	3	0	0	0		1	0	0	0	
	鏡野町	2	1	0	0	4	0	0	0	0	2
	勝央町	1	1	0	0		0	0	0	0	
	奈義町	0	0	0	0		0	0	0	0	
	西粟倉村	0	0	0	0		0	0	0	0	
	久米南町	0	0	0	0		0	0	0	0	
	美咲町	1	0	0	0		0	0	0	0	
小計	15	6	1	1	4	2	0	0	0	2	

※平成30年度病床機能報告データによる。マンモグラフィー台数のみ平成29年度医療施設調査データによる。

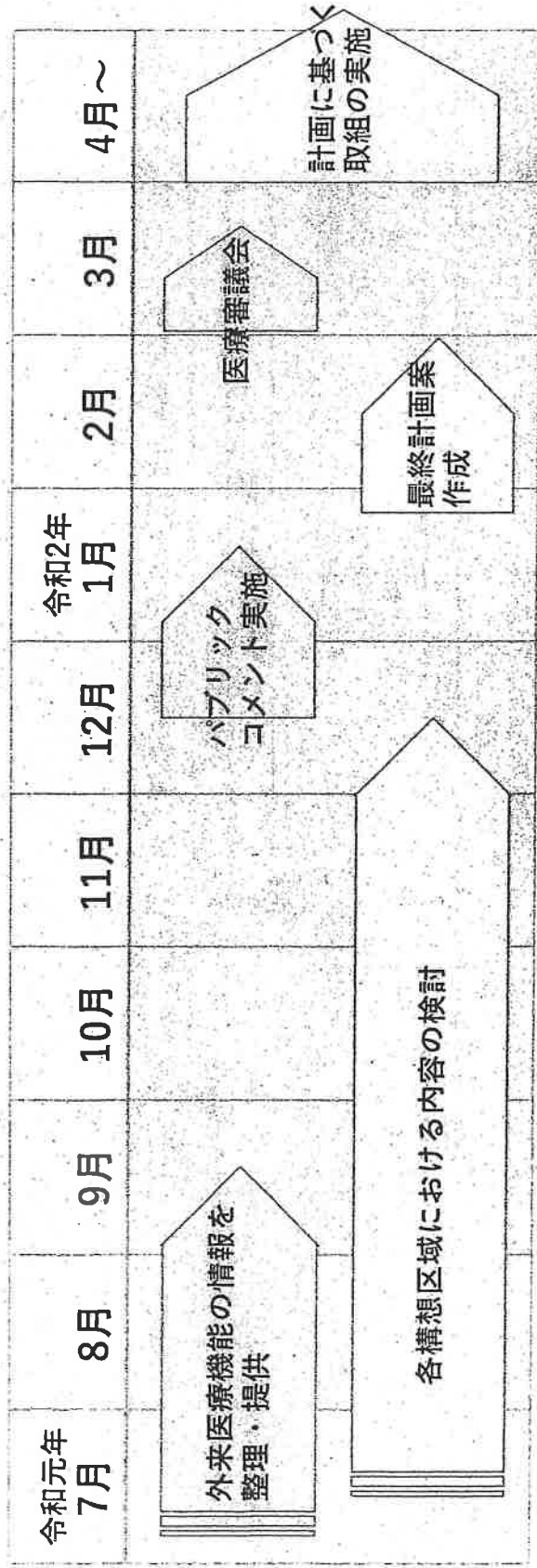
章名	4 医療機器の効率的な活用
節名	2 医療機器の共同利用の方針

県内各二次医療圏における、医療機器の共同利用の方針は、次のとおりとなっています。

医療機器共同利用の方針	
○	県南東部保健医療圏
○	県南西部保健医療圏
○	高梁・新見保健医療圏
○	真庭保健医療圏
○	津山・英田保健医療圏 津山・英田保健医療圏域では、それぞれの医療機器を所有する医療機関へ紹介依頼しており、特に問題なくスムーズな運用となっています。今後、医療機器の新たな導入予定や更新しない等、設置状況に異動が生じる場合には、必要に応じ地域医療構想調整会議において協議・調整を行います。

岡山県外来医療に係る医療提供体制計画（仮称）の策定作業

- 「岡山県外来医療に係る医療提供体制計画」（仮称）は、岡山県保健医療計画の一部として策定する。
- 計画策定に当たっては、「おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）」により、その内容を県民に公表し、意見を求める。
- 令和2年3月に開催予定の岡山県医療審議会に報告し、承認を得る。
- 策定スケジュールのイメージは次のとおり。



津山・英田医療圏域の病床機能と必要病床推計の比較

区分	平成30(2018)年7月1日 現在の病床数 〔病床機能報告〕(修正)			必要病 床数② H37(20 25)	②-①	②/①
	病院	診療所	合計①			
高度急性期	122	0	122	132	10	108.2%
急性期	777	74	851	501	▲ 350	58.9%
回復期	341	11	352	483	131	137.2%
慢性期	567	80	647	414	▲ 233	64.0%
休棟・無回 答等	0	70	70		▲ 70	
計	1,807	235	2,042	1,530	▲ 512	74.9%

平成26(2014年度)NDBデータ(流出)一般入院基本料、全年齢、入院

	県南東部	県南西部	高梁・ 新見	真庭	津山・ 英田	兵庫県	鳥取県	広島県	香川県	総計
県南東部	93.59%	4.81%	0.33%	0.08%	0.18%	0.79%	0.02%	0.12%	0.07%	85,276
県南西部	4.02%	91.53%	0.14%	0.02%	0.04%	0.08%		4.12%	0.05%	70,610
高梁・新見	9.92%	16.68%	65.73%	4.44%	0.34%		1.27%	1.53%	0.09%	11,255
真庭	9.57%	2.04%	0.70%	75.71%	7.00%		4.98%			7,704
津山・英田	12.90%	1.14%	0.06%	2.17%	81.29%	1.93%	0.41%	0.08%		22,174
総計	87,366	71,021	7,843	6,900	18,785	1,154	639	3,204	107	197,019

(資料：厚生労働省「平成27(2015)年度医療計画作成支援データブック」)

